

ecoS通信

2008
5月
vol.180

玉造グランドホテル長生閣 木村部長 様 長い間ありがとうございます。 これからもご活躍下さい。



『再生燃料油との出会い』

第二次オイルショック時に廃油（再生燃料油）の使用を考え、先代の社長・当時の支配人とともに、再生燃料油とはどういうものか、北九州・宇部セメントへ見学に行きました。これが再生燃料油との出会いです。再生燃料油とはよく燃えるものだ、その時感じました。

その後、我館でも再生燃料油を採用しました。しかし、半年後初めての冬を迎えた時に、上手く燃焼させることが出来ず、時には24時間ほとんどボイラーと向かい合いながら約1ヶ月間を会社で過ごしたこともありました。

さすがにその時は、再生燃料油を使うことを諦めようかと考えました。しかし、ボイラーメーカーが、設備の不具合が起きると直ぐに改良品を供給してくれたり、先代の社長と支配人が、設備投資に対して良く理解して頂き、途中で諦めることなく今日まで使い続けることが出来ました。

木村部長様談

『人と人のつながり』

山陰興業との出会いは、藤村さんがサンプルを持参し、営業に来てくれ、当時使用していた廃油と比較したのが始まりです。

振り返れば、周りの人たちの協力があったから出来ましたし、みなさんにはよく気を遣っていただきました。

夜中にボイラーが止まったとき、福島さんが「またやったかねー」と、とんできてくれて、朝には油を入れ替えてくれたこと。他の会社では考えられない。

石原さんには、納品の際には、「どうですかい

ネ、燃えていますか？」などと声をかけていただきました。

河上さんには、「燃焼について教えてください」という事で、現場によく来られた。勉強熱心でした。

会社と会社の付き合いではなく、人と人との付き合いがほんとに大切だ。 木村部長様談

『続けることの大切さ』

「再生燃料油に着目し、さまざまな困難を乗り越えて、長い間使っていただいた闘志を支え続けていたのは何だったのでしょうか？」という質問には、「挫折したくなかった!!」というお答えでした。お言葉の中に仕事に対する『意地』を強く感じました。また、『続けることの大切さ』を改めて感じました。 松下・長野記

地域から出る廃棄物を、その地域で有効にリサイクルし、経済活動に貢献するという理想を、さまざまな困難を克服し、26年の長きにわたって続けていただいたこと、木村部長様と長生閣様に心から感謝します。幸い井川さんというすぐれた人に引き継がれていきます。

このエネルギーが他の施設にも広がって、環境にやさしい玉造温泉として注目を受けたらと、夢をふくらませています。 山根記

*文中人名は山陰興業㈱社員名

繁盛店訪問

株式会社 ハゼヤマ 様
〒697-0026島根県浜田市市田町762-3
TEL0855-22-0125 FAX0855-23-5714

『創業』

創業は、明治23年にさかのぼり、今年4月から、石油製品販売に特化されました。「暮らしの豊かさ暖めます」生活に身近なエネルギー供給企業として、「総合エネルギーサービス企業の確立」をめざしてまいります。

また、各SSをエリアにまとめ、エリアマネージャーをおきました。その裁量で、その地域にあった店作りができるのです。

また、「みんなで営業する力をもとう」ということで、デスクに座る時間を減らし、積極的に対外活動をやっておられます。

『改善提案』

以前から改善提案制度を設け各SSからの提案を募っています。ざっくばらんに書いてもらい、採用されたら報奨金が出ます。「改善余地は無限です。皆が楽しんで取り組めるように。」とお考えです。

『山陰興業の評価』

山陰興業の評価は、「まず、第一にコンプライアンス。信用がおける企業に廃棄物の処理をお願いしたい。第二に、臨機応変に対応してくれるところ」と、評価していただいています。

各SS訪問

敬川SS 林マネージャー様

唯一の女性マネージャーです。「男には負けんぞ!」という、強い思いで競争心を持ってがんばってこられたそうです。タイヤ交換やオイル交換も進んでこなされます。「少しつらいのは、冬場の海からの強風と夏場の暑さです。」だそうです。



鏡山SS 稲元マネージャー様

「2年前に1年間、永見社員がつくった“鏡山新聞”が提案制度で入賞しました。手書きで温かみがあり、お客様に配って大好評でした。」「今後カーケアを充実させ山陰興業に廃油をたくさん出したい」と、うれしい言葉を頂きました。



お話を伺った、浜田営業部副部長の吉原康夫様

駅前SS

青木マネージャー様

「価格差を埋めるようなサービス＝笑顔で接客、大きな声での挨拶が大切。」とお考えです。山陰興業に対し、「おもしろいことを言って、笑いをくれる」と、嬉しいお言葉を頂きました。



青川SS

沖野サブマネージャー様

「当SSはアットホームなところが人気です。今後は、タイヤ販売と洗車に力を入れていきたい。」と力説しておられました。



すふSS

佐々木サブリーダー様

「スタッフ全員、笑顔の接客を心がけています。」ここすふSSでは、毎週月曜日9時、BSSラジオ放送で浜田地方の天気コーナーを担当しているそうです。一度聞いてみてください。



七条SS

山村サブマネージャー様

「近隣に温泉があり、半農半漁の、お年寄りが多いのどかな地域なので、地域密着で営業しています。」とにこにこ笑顔でおっしゃいました。



大賀誠一社長様より

「今、石油業界は原油高騰や過当競争により、更なる経営努力が必要になっています。

その中での生き残り策として、弊社は大手工場の潤滑油管理の仕事に積極的に取り組んでいます。

キーワードとして、“環境”に優しく“長寿命”、“省エネ”型の潤滑油の販売に取り組んでおり、需要家様のコスト削減の為に、日々“提案型販売”を実行しております。

これを成功させるためには、山陰興業さんのご協力は是非必要です。これからもよろしく願い申し上げます。」



4月1日に社長に就任された、大賀誠一社長様

今月の安全講習

松江営業所開催：平成20年4月19日 9:00～12:00

本社開催：平成20年4月26日 13:00～16:00

『KYT…安全対策続編』

問題点…お客様先で作業中に車でホースを踏まれた
対策…収縮するセーフティコーンをタンクローリー1車に1基配備し、ホースをはわせる作業に使用する。

『大型車の車輪の脱落事故について』

現状…

- ・昨年、全国で約270件報告されている。
- ・当社でもこれまで、脱落1件、脱落しそうになったことが3件ある。

対策…

- ・異音がした場合は、すぐに車を止め、点検する。
- ・タイヤ交換時、ボルト・ナットをバランス良く、対角にしていける。
- ・インパクトレンチを使用する場合、締めすぎに注意する。

『大型車車輪の日常点検について』

① 目視点検

- ・ボルト・ナットがすべて付いているか。
- ・ボルト・ナットが錆びていないか、ホイールに亀裂や損傷がないか。

② 点検ハンマでの点検（右写真）

- ・ホイールナットの下側に指をあてて、ホイールナットの上側面をたたいてみる。
- ・たたく方向は、ナットが締まる方向へ。
- ・指に伝わる振動が他のナットと違ったり、濁った音がしないか点検する。
- ・点検ハンマを1車に1本配備する。

『大型車の法定定期点検について』

① 3ヶ月点検

- ・車輛総重量8トン以上の貨物車対象
- ・日常点検にあわせ、ホールナットの緩みを点検する。

② 12ヶ月点検

- ・ディスクホイールの点検は、ホイールをはずして行う。
- ・あわせて、ホイールボルト・ホイールナットおよびハブなどの関連部品に異常がないか点検する。

『移動タンク貯蔵所に携行する書類について』

① 完成検査済証

② 製造所等定期点検記録表（年1回点検3年保存）

③ 移動タンク貯蔵所点検表（年1回点検3年保存）

④ 移動貯蔵タンク定期点検実施結果報告書（10年間保存）

直近の漏れ点検から5年を超えない日までに1回以上、移動貯蔵タンクの漏れ点検を行わなければならない。

⑤ タンクローリー乗車時は、危険物取扱者免状を携帯する。

⑥ 保存用ファイルを作り、上記書類をまとめてファイルし、車載しておく。

点検ハンマでの点検



実際にナットを緩めてもらい、締めあてたナットとたたき比べてみました。鋭い金属音がしなく、また指に響く感じでした。このように体感することによって、知識もさらに身に付くと思います。今後の安全講習には、皆さん、是非、参加してください。

第14回本社一斉清掃の実施

平成20年4月26日 8:00～10:00

天候がよくなり、草が繁茂するようになりました。これからの季節は、草との闘いです。河上5Sリーダーが草刈り機を使い、他の社員は鎌などで草刈りを行いました。今回は、石原社員から、手鎌による草刈りの手ほどきを受けました。簡単に草をかき除くことができ、しかも時間を短縮できるのです。次回からはこのやり方でやってみましょう。

右の写真は、ボイラー室近くに咲いた、御衣黄（ぎょいこう）桜です。薄い黄緑色の花が散りはじめています。5S活動の一環で、下草を刈り、周辺環境の整備をした結果、このように見事な桜の花を咲かせることができました。

日頃から、ちょっとした時間をみつけて、ゴミを拾ったり、草を抜いたりしていきましょう。 長野記



神西湖岸一斉清掃

3月30日、あいにくの雨のなか、神西自治協会主催の神西湖岸一斉清掃が行われました。約350人の参加がありました。湖岸には、ゴミが多いため、葦が枯れていました。作業は1時間ばかりで、きれいになりました。

来年はたくさんの社員が参加できるよう、早めに周知したいと思います。 河上談



山陰興業から、河上、木村、安原（左より）と山根が参加しました。



当日用意されたゴミ袋750袋ものゴミが出て、出雲エネルギーセンターへ搬送されたそうです。

島根原子力発電所、防災設備視察

八幡地区災害防止協議会の先進地視察で、島根原子力発電所の見学をさせていただきました。1号機を運転しはじめて、34年になります。現在は2基の発電機で、島根県東部と鳥取県全域への電力供給をされています。現在、3号機を増設中で、平成23年12月には営業運転開始予定だそうです。

新潟県中越沖地震において、柏崎刈羽原子力発電所で火災が起これ、これをきっかけに防災設備・活動を強化されました。消防専門チームを設置され、3月下旬には、化学消防車1台、水槽車1台を配備されました。

また、消火器、屋内消火栓、屋外消火栓、泡消火設備、二酸化炭素の消火装置等の増設をされました。

私たちが、災害に備えて、防災設備と日頃の訓練を実践していかなければならないと考えます。八幡地区災害防止協議会で開催される訓練、講習会には積極的に参加し、社内に周知していきたいと思います。

長野記



『大切なことに気づく24の物語』を読んで

4月の指定図書



人が社会で、職場で気持ちよく働けるのは職場の人間関係がうまくいっていることが第一であり、これに尽きると思う。

自分本位にならず、お互いが気を遣いながら協力して、周りにうまく溶け込んでいけて精神的に安定していれば、例えどんな難題が来たとしても、決して今いる職場で働くのは嫌にならないで続けていけるはずである。

自分と合わない人、難しい人、勝手な人等々あるなど思っている、もしかして自分がそう思われているのではないかと、自分勝手な行動をしているのではないかと誰もが時々反省をしてみなければいけないと思う。

毎日のほとんどを職場で過ごすのだから、気持ちよく働ける人間関係を築いていけるように、周りに求めないで自分が変わっていくといつしか良くなっていくものだろう。日々そう心掛けていきたいものだ。

井上記

元氣の出る言葉

中村天風師

つましやかに感謝の念を
持つて生きるようになったら、
どれだけ人生のスケールが
大きくなるかわからない

（「君に成功を贈る」より）

日本経営合理化協会刊

健康で普通の生活ができることに
日々感謝の念をもっています。もちろん、
仕事が出来るのも周囲のひとの協
力があつてのことです。（長野記）



茎葉の間から二輪の花をつける、「二輪草」

写真：長野

自分を高める今月の一冊

5月の指定図書

オモニ

在日朝鮮人の妻として生きた母

小野順子著 幻灯舎刊



「父の人生は、日本の朝鮮半島支配と、戦争と、その時代の真っ只中に生き、巻き込まれ翻弄された人生だったのではなかったかとおもえるのである。」

(P144)

韓流ブームで賑わっていて、若い人たちの間には人種による差別はないように見えても、この本に書かれていることは、今も社会に厳然と存在しています。

私の無二の親友は、在日朝鮮人二世です。バイトと勉強を両立させて大学を卒業したものの、どの会社も就職の門戸を閉ざしていました。国籍が違うことで差別され、就職ができず、志を砕かれた彼は、どんなにか世の矛盾を嘆いたことでしょうか。

今二人のお嬢さんは、医者になり、日本人と結婚して、両親とは異なる人生を送っている。友人夫婦も心豊かに暮らしている。彼がこの本を読めば、ご両親、自分たち夫婦、そして子供達の今と、どうダブらすのだろうか。

一見豊かに見える今の日本でこそ、過去の歴史と現実が注目され、読まれるのだと思います。 山根記

蔵書新着情報

4月に購入した本を紹介します。

誰でも貸し出し可能です。貸出、返却は井上社員を通してお願いします。

【書籍】

- | | | |
|--------------|------|-----------|
| ・『無人島ウイー』 | 渡邊美樹 | 日本経済新聞出版社 |
| ・『経営に求められる力』 | 稲盛和夫 | サンマーク出版 |
| ・『日本人の背中』 | 井形慶子 | サンマーク出版 |



八束町。ぼたん祭りが行われている、島根県松江市

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、老舗中村茶舗の八十八夜新茶です。締切は5月末です。ふるってご応募ください。

Q：出雲大社では平成の大遷宮が行われています。前回は昭和〇年でした。〇に入る数字を教えてください。

先月号の答えは「自然遺産3件、文化遺産11件」でした。抽選の結果、境港市大石様、周南市守政様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

中国餃子事件をきっかけに、日本国民の食への安全意識が大変高まってきました。食糧の安全保障は国民の生命にかかわる大問題です。だからこそ、最近の食糧自給率のともどもない低下は気がかりなところですよ。

食べ物は、いうまでもなく国民の生活にとって一日たりとも欠かせないものです。だから食糧自給率は、高い方が安心であることに間違いありません。

食糧自給率を高めるために、わたしたちができることは何でしょうか。

- ・食品の保存を上手にして、捨てるものをなくす。
 - ・買いすぎ作りすぎに注意し、食べ残しがないようにする。
 - ・料理をするとき、ムダがでないようにする。
 - ・賞味期限や消費期限を考えて利用する。
 - ・リサイクルを促進させる為、ゴミの分別をきちんとする。
- などが考えられます。

日本の食糧自給率の低さを深刻に受け止め、小さなことでも、毎日地道に実践していくことが大切だと感じます。